平成２２年度重点事業について

おかやま酪農業協同組合

Ⅰ基本方針

昨年度は飼料高を補う乳価値上げにより、やや落ち着いた経営環境でありました。　一方、飲用牛乳の消費低迷が影響して脱脂粉乳やバターの過剰在庫を抱えるなど生乳需給バランスが大きく崩れました。

今年度は減産計画の下での酪農経営を余儀なくされますが、組合員の負託に応えた事業の展開を図ってまいります。

Ⅱ事業重点推進目標

１．生産指導事業

県の酪農経営支援チームの協力のもと、チエックシート記入励行や家畜飼養管理基準の遵守を推進するとともに、乳質とくに体細胞数低減のための支援を行います。

カウコンフォート普及推進を図ることで生涯生産性向上につなげ、一方で酪農支援プロジェクトチームは飼養管理等に関するの技術支援を主体に活動します。

２．酪農ヘルパー事業

事務の電算化により、より効率的な派遣調整を行い、また利用料体系の変更に向けたデーター収集・分析を行います。

３．改良登録事業

乳牛の遺伝的改良に取り組み、牛検データー活用を推進します。

４．診療・受精卵移植事業

繁殖検診主体の診療や乳質・衛生管理指導に努めます。

ＥＴ技術を活用し、優秀な後継乳牛の確保に努めます。

５．乳牛流通事業

乳用牛ならびに肥育牛などの斡旋・販売を円滑に推進します。

搾乳素牛は７００頭導入を計画します。県の高品質乳牛導入事業に取り組み、また乳質改善対策と搾乳素牛確保支援で導入助成を行います。

６．販売事業

生乳需給均衡のための計画生産を、組合員に理解を求める中で実施してまいります。

中国生乳販連の５会員と協調して中販連の機能強化が図られるよう努めます。

７．購買事業

安定した優良品質の飼料供給と、仕入先の幅広い選択による供給価格の低減に努めます。

８．経理

組合財務の健全性を高め、適正な運営に努めます。

９．特別対策室

組合員の経営改善支援に努めます。

10．経営管理

経費の節減と業務の効率化を図ります。コンプライアンス態勢の確立に努めます。